

回覧							

厚狭ふるさとカローリング大会について

- ◎ 日 時 令和7年11月30日(日) 8:45～
- ◎ 場 所 厚狭地区複合施設「アリーナ」
- ◎ 開会式
 - ・ 厚狭地区複合施設「アリーナ」にて、8:45より
 - ・ チームの責任者は、8:30までに「アリーナ」に集合。(参加チームの確認等)
 - ・ 参加者は 8:45までに集合し、試合開始は9:00を予定。
- ◎ 組合せ
 - ・ 代理抽選し、組合せは当日発表する。
- ◎ 試合方法
 - ・ 「山陽小野田市ふるさとカローリング大会競技ルール」に基づいて行う。
- ◎ チーム編成
 - ・ 1チーム 3名(登録は4名可)
 - ・ 男女の人数、年齢は問わない。(子どもは小学4年以上)
- ◎ その他
 - ・ 参加者は、体育館シューズを使用する。
 - ・ 優勝チーム、準優勝チーム、3位チーム(1チーム)には、表彰状を授与する。
 - ・ 上位3チームは、市の大会(12月7日実施予定)へ出場することができる。
(3位以内に中学生チームが入った場合は繰り上げ)
 - ・ 参加者全員にお茶、入賞者には副賞を準備する。

参加希望者は、下の申込書を厚狭地域交流センターに11月21日(金)まで提出願います。(右のQRコードからメールでの申込みも可)

《問合せ先》 厚狭地域交流センター(電話 72-0507)
Mail: asa-center@city.sanyo-onoda.lg.jp



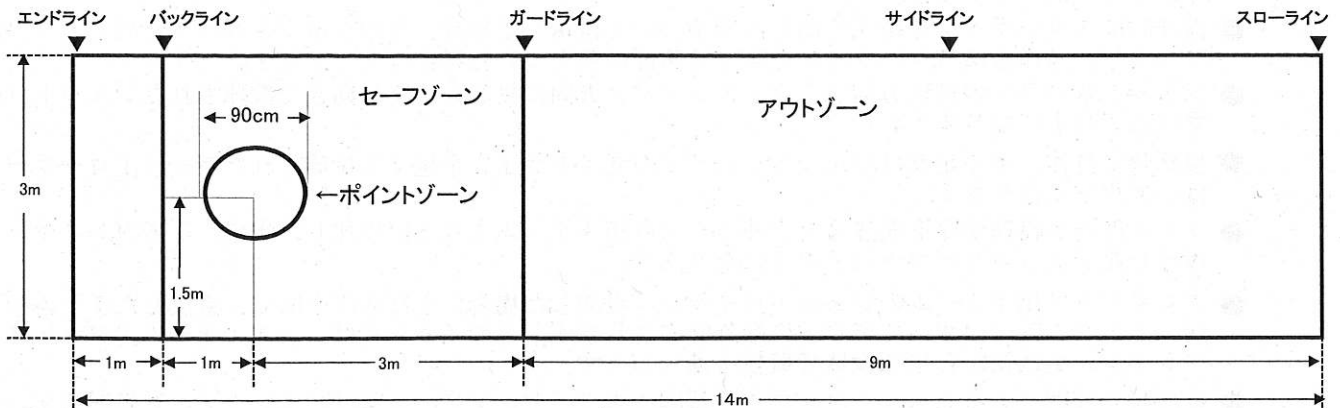
----- き り と り 線 -----

「厚狭ふるさとカローリング大会」申込書

チーム名			
代 表 者 名	(年齢)	住 所	連絡先(電話)
	()		
氏 名	(年齢)	住 所	連絡先(電話)
	()		
氏 名	(年齢)	住 所	連絡先(電話)
	()		
氏 名	(年齢)	住 所	連絡先(電話)
	()		

11/21(金) 提出〆切 厚狭地域交流センターへ

山陽小野田市ふるさとカローリング大会 競技ルール



カローリングは、氷上のスポーツカーリングをヒントに室内で気軽に楽しめるスポーツとして1993年に名古屋で誕生しました。3世代でできる新しいスポーツで、体育館やオフィスなどの屋内フロアで、よりスリリングに楽しむ事ができるように開発した「ジェットローラー」を、フロアの先端に設けたポイントゾーンを目標に走行させ、相手チームと交互に投球し、ぶつけ合いをして得点を競います。現在では海外にも普及しつつあります。

1. 競技方法

- 1試合は5イニング制とします。所要時間約15～20分間。
- 競技は、1人1個のジェットローラーを投球順序に従い、ポイントゾーンに向けて相手チームと1個づつ交互に投球し、両チームのジェットローラー6個を全部投球して1イニングを終了して得点を計算します。
- 5イニング終了時に同点の場合、1イニング延長します。

2. 先攻の決め方

- 先攻、後攻は、両チームの代表者がトスで決めます。各イニングにおいて、勝ちチームは、次のイニングで先攻になります。両チームのジェットローラーがポイントゾーン上にならない場合は引分けとなり、次のイニングに進みますが、先攻、後攻の順序は前のイニングと同じです。

3. プレイヤーの投球順序

- 各プレイヤーの投球順序は、1試合の競技がすべて終了するまで途中で変更することはできません。

4. 得点計算

- 標的にジェットローラーが接触している場合、中心に最も近いローラーのチームが勝利になります。
- 負けチームは0点で、勝ちチームは負けチームのローラーより中心に近いローラーの数に応じて得点が与えられ、接触する標的の色が赤だと3点、黄が2点、青が1点として計算しますが、ジェットローラーの外周が各色の間の白線上にある場合は点数の低い方にとって計算します。

5. コートライン上の停止と走行時の判定

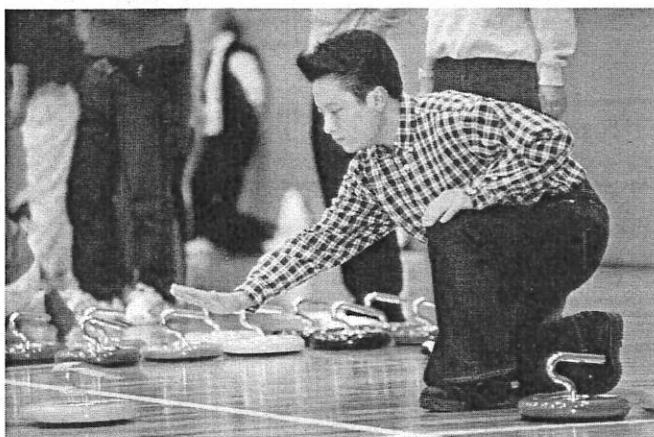
- 投球したジェットローラーが、セーフゾーン以外で停止した場合とすべてのライン上に停止、又は接触している場合は、すべてアウトとなり味方チームにより除去します。
- セーフゾーン内に停止したジェットローラーは、そのイニングが終了するまで触れることはできません。
- ジェットローラーのポイントゾーン上及びコートライン上の位置確認や可否の判定及び得点計算は、両チームの副主将が協議して決定します。
- 投球したジェットローラーが、サイドラインを越えて隣接コートに入った場合は、アウトになり味方チームにより除去されます。

6. 投球時の注意

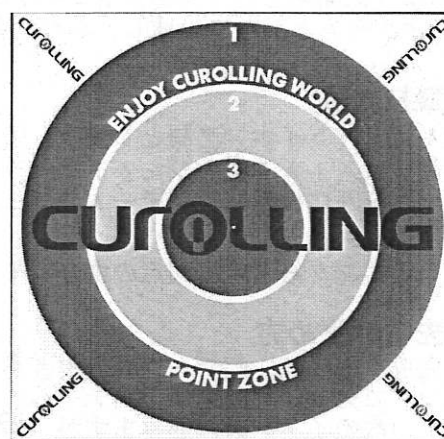
- 前の投球者が投げたローラーが停止してから、次の投球を始めてください。
- プレイヤーが投球姿勢に入った時、スローラインで待機する他のプレイヤーは声を出したり、体を動かしたりしてプレイヤーの投球を妨害する行為をしてはならない。
- スローラインで待機するプレイヤーは、ジェットローラーの位置を確認するために、ポイントゾーンの周辺に近づくことはできません。

7. 投球時の反則

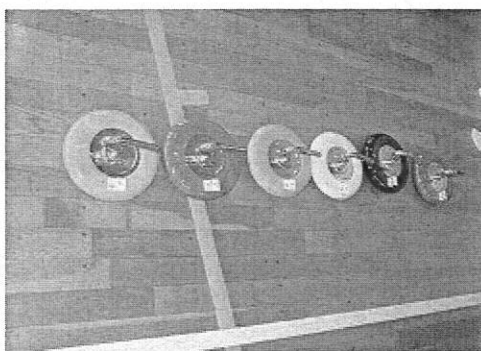
- 中腰姿勢や立ったり、走りながらの投球はすべてアウトです。足がスローラインを越えるとアウト。オンラインはセーフです。
- 投球時にスローラインを越えて前方に手をついて投球した場合、そのジェットローラーは、アウトになります。投球後にスローラインを越えて床面に手をついた場合はセーフです。
- ジェットローラーの投球方向は、ポイントゾーン方向に投球し、反対向きで投球されたジェットローラーはアウトになります。
- 投球時に身体、手や足又はジェットローラーがサイドラインを越えて投球されたジェットローラーは、アウトになります。
- プレイヤーが投球順序を間違えて、味方、又は相手チームより先に投球した場合、そのプレイヤーの投球したジェットローラーはアウトになります。
- プレイヤーが相手チームのジェットローラーを投球した場合、ただちに中断し、違反したチームのジェットローラーはすべてアウトになり除去されます。このイニングは、一方のチームのファーストプレイヤーが最初から単独投球で競技を進行します。
- 投球時の反則によるジェットローラーの起因により、セーフゾーン及びポイントゾーンにあるジェットローラーが移動した場合は、元の位置に戻します。
- プレイヤーが味方チームのプレイヤーの使用するジェットローラーを間違えて投球した場合、投球されたプレイヤーのジェットローラーもアウトになります。



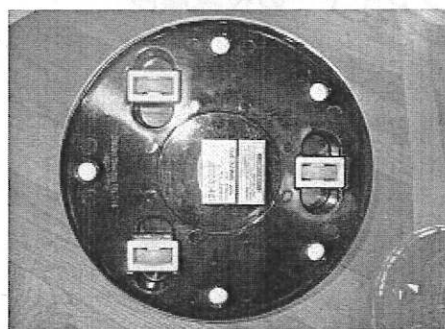
投球フォーム



ポイントゾーン



ジェットローラー



ジェットローラー(裏)